

（発達障害圏の）心理療法

*当財団(講座)は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、(公財)日本臨床心理士資格認定協会より「短期研修機会(ワークショップ)」の承認を受けております。 <承認期間:2017年7月1日~2022年6月30日 承認番号:W29111>

期 日：2020年9月12日(土)・13日(日)

受講対象：教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場で、子どもに関わる専門家および興味のある方々

定 員：120名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料：11,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

会 場：札幌市教育文化会館 4F 講堂

札幌市中央区北1条西13丁目 ※詳細地図は受講証に添付します
(札幌市営地下鉄東西線「西11丁目駅」1番出口から徒歩約5分)

今回は、「(発達障害圏の)心理療法」を企画しました。

現在、臨床現場では「発達障害」の位置づけそのものが、不明瞭にはなってきました。

現代は、生来的な個人特性と、後天的な環境要因により、多くの人がそれぞれの生活に呻吟するような時代になってきたように思います。と同時に、現実的な互恵的な支えあいが希薄になり、人の心が護られにくくなってきたように感じます。

僕は、心理療法は、その人の生活苦、あるいは生きていることの苦しさから開放されるための手立てというよりも、その辛さを自らが引き受ける強さを回復するために存在していると信じております。

最近、発達障害臨床からトラウマ臨床へと基軸が移ってきておりますが、いずれにしても関係性のなかで成長、進化する人にとって、心理療法の役割は、普遍的に、日常的に、非日常的に、求められ続けると考えています。

これまで札幌セミナーは「発達障害」を常に意識した講座ではありますが、今回は、括弧でくくり、それよりも「心理療法」について、それぞれの演者の実践からの思い(哲学)を学ぶ場にしたいと思いました。

久しぶりの土日開催です。オリンピックの喧騒のあとの札幌に、みなさま足を運んでくださいますように。

【企画講師：田中 康雄】

【プログラム】

日程	時間	テーマ	講師(敬称略)
9月12日(土)	14:00~15:30	企画趣旨、(発達障害圏の)心理療法について	こころとそだちのクリニック 院長 田中 康雄
	15:45~17:15	ゲームを媒介する関わりについて	こころとそだちのクリニック 公認心理師 佐藤 昭宏
9月13日(日)	9:30~11:00	アディクションの悪循環を断ち切る 信頼障害仮説の視点から	神奈川県立精神医療センター 医療局長 小林 桜児
	11:15~12:45	プレイセラピーの視点から	すぎなみ心理発達研究センターほっとカウンセリングサポート 代表 (元目白大学 准教授) 丹 明彦
	12:45~13:45	昼 食 (各自おとりください)	
	13:45~15:15	統合的心理療法	大正大学大学院 名誉・客員教授 村瀬 嘉代子
	15:30~16:30	総合討論	出席講師全員

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。